

△▲△▲ 初めてのスノーシュー体験 △▲△▲ 大幽の洞窟

Ino Kaz



生きる目標である諸先輩 6 人とともに、スノーシュー研修に出かけました。何せ私は初めての体験。ハラハラドキドキの心境。でも安心です。これだけの豪華講師陣、何も恐れることはありません。

私とスノーシューの出会いは 2 年前の総会後の山道具オークションで AKA さんからスノーシューを譲り受けたことに始まります。いつかこのスノーシューを使ってみたいと思っていました。しかし、昨年 3 月までは全く動きのとれない仕事を抱えていたのでお預けになっていたのです。AKA さんから声をかけていただいていたのですが平日はだめ。今年度になり、退職をしたので晴れて自由の身に。やっと今回とうとう実現することになりました。

1 月 23 日水曜日、ツカさんの車に乗せていただいて現地までまっしぐら。水上インターを降りると、雪景色がぐっと迫ってくる。山々を見ながら、上の原山の家駐車場に到着。身支度を整え、スノーシューを履き出発。真っ白の雪の上をスノーシューで歩くのは最初ぎこちなかったがすぐになじみ、気持ちよさを味わう。至福の喜び。雪はこんなにきれいなんだと改めて思わされました。途中で谷川岳の絶景をバックに記念撮影、快晴で思い出に残る、素晴らしい写真を撮ることができた。

途中、武尊山分岐を経て緩やかな登りが続いていく。時より頭の上に雪の塊がバサーと落ちてくる。またこれも実践の心地よさ。雪は依然としてパウダースノー。スノーシューが昨日積もった雪の中に深く落ち込むこともあった。

大きな岩のような雪に囲まれた樹木の空洞があり神秘さを味わう。ここで一休み。後ろから来た団体に道を譲る。



最後の登りを経て目的地の大幽洞穴に到着。中を覗いてびっくり。氷のタケノコのような氷の柱が見事に美しく林立しているではないか。大感激でした。ここでも記念撮影を。元の登山口のところまで下山。





1月24日木曜日。朝から雪がちらつき。あまり天気はよくない。予定を変更して赤城に移動することになった。赤木の新坂平駐車場につき、降り立つと、かなりの強い風模様。とりあえず秋柄山に向けて準備して出発。冬山初登山。これも感激。降り積もった雪の上を慎重に登山。山頂に着くと湖の凍っているところや山々の冬景色は素晴らしかった。下山は滑りやすいので慎重に降りる。駐車場に無事到着した。

初めてのスノーシュー体験と初登山、どちらも私にとっての感動の貴重な体験となりました。こうした企画をなさっていただいたAKAさんをはじめ、諸先輩の皆様深く感謝でした。これに懲りずにまた誘っていただけることを期待しています。

※本稿写真提供：ツカさん



《記録》

1/23 大幽洞穴スノーシュー 行動時間 3 時間 57 分

11 : 12 上の原山の家 → 12 : 13 武尊山分岐 → 12 : 52 枯れ胡桃の空洞 → 13 : 09 大幽洞穴 14 : 00 → 14 : 11 枯れ胡桃の空洞 14 : 26 → 14 : 43 武尊山分岐 → 15 : 06 上の原山の家

1/24 鍬柄山登山 行動時間 2 時間 15 分

10 : 33 新坂平駐車場 → 11 : 37 鍬柄山 11 : 43 → 12 : 48 新坂平駐車場

(了)